

5 月のインフルエンザ騒動が嘘のように、神戸にも平穩無事な夏がやって参りました。まだ世界的には『フェーズ 6』という警戒レベルにあるそうですが、日本で初めて国内感染が確認されたこの神戸でも、「新型インフルエンザ」も今やどこ吹く風(邪?)となり本当に安堵しております。しかし、『人間万事塞翁が馬』の例えの如く、世間が騒がなくなったからこそ気を引き締めて、今年も暑い夏を乗り切っていただきたいと思います。

さて、昨年末に開始されました寺院復興事業も大詰めを向かえ、この 7 月 17 日は住職一同も新しい庫裏(僧侶住居部)に引越しが出来る予定です。本堂の荘厳(飾付け)は、その後の 21 日より開始されますので、新本堂を利用するお寺での最初の行事は 8 月 16 日(日)の『盆せがき法要』からとなります。

また新本堂落成式(落慶法要)は万事準備が整う、平成 22 年 4 月頃を予定しております。最新の工事状況は、普照院ホームページ <http://fusyoin.com/>にて随時更新報告させていただきますので、是非一度ご覧いただければと思います。

ここに至るまでの間、色々な問題にも遭遇し心が折れそうになったこともございましたが、総代並びに建築委員会のご一同様のご助力、更にはお檀家様の温かいお気持ちやお言葉をいただき、いよいよ完成の日を迎えようとしていることを、本当に感謝しております。これからも普照院護持発展の為に何卒ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

合掌

## 《 新本堂 法務開始 》

平成 21 年 8 月 16 日(日) 盆せがき法要：午後 2 時より法務開始。

皆様の浄財で建てられたお寺です。是非、お参り下さい。

\* 各お檀家様のご法事もこの日から新本堂をご利用いただけます。

## 《 新本堂・庫裏 落成式(落慶法要) 》

平成 22 年 4 月初旬の日曜日に予定しております。

\* 詳細は決まり次第ご連絡させていただきます。

## 〈長年のご苦勞への感謝〉

最近、ご法事や月参りでご自宅にお伺いさせていただきますと、「最近、正坐をするとひざが痛くて…」と言われる方が多くなってきました。このような時は、私に遠慮せず、椅子に座っていただいて構いませんので、決して無理をしないで下さい。

ちなみにその膝痛は、変形性膝関節症という、要は70年、80年と膝を使い続けた結果、膝の関節の軟骨がすり減ってしまい、膝が変形し痛みを感じる病気なわけですが、これと同じように、誰もが80代を過ぎますと、足腰が弱り、一人で生活することに不自由となり、家族やヘルパーさんにあれこれと面倒をかけなければ生活できなくなるケースが多くなってくると思います。



そんな折人間誰もが、面倒をかけたたり手助けしていただいた方に、「ありがとう」とお礼を述べます。そしてそれを言われた家族やヘルパーさん達は、その一言で苦勞が報われたと感じることと思います。

しかし、その「ありがとう」という言葉の相手は、その方々に対してばかりではないのです。その言葉は、自分自身の不自由になった体に対する、長年の苦勞に対してもお礼を言っていることにもなるのです。そう思うことが出来るようになると、日々感じていた患部への感情が、まったく違ったものになるはずです。

私も中学生の頃に痛めた腰が、40代に近づくにつれ段々悲鳴をあげ始めてきたことを痛感する毎日ではありますが、この自分の体の不自由な箇所、不満な箇所に対する感謝の心を教えていただいてからは、自分自身の腰痛に対する考えがガラリと変わりました。

「この腰痛さえなければ…」 「今日も朝から辛いなあ…」ではなく、「今までいろいろ迷惑をかけたなあ、これからもがんばって私の為に働いて下さいね。」と思うことで、少しでも心にゆとりが持てたようにも感じます。これからも皆さんの中で、お体に不自由を感じるようになった際には、是非この話を思い出していただければと思います。

### 〔編集後記〕

最近、電車の宙吊り広告で「ロッカー式納骨壇」と称する、いわゆる『ロッカー式墓』の販売をよく見かけます。「お墓が遠いとお参りに不便だから。雨が降った時でもお参りし易いから…」などと色々な利便性が説かれていますが、どのような美辞麗句を並べたてられても、私はやはりお墓は屋外に石で作成され、風雨の中で年月と共に自然と調和し、その下に埋葬されるお骨はこれもまた年月と共に自然に土に戻るべきものだと考えます。

そもそも比較的耐用年数が高い鉄筋建築でも、耐えて80年が限度。そのような建物の中にお墓を建てるなど・・・。

合掌

発行；[時宗 慈光山 普照院] 責任者 小田義宗

652-0853 神戸市兵庫区今出在家町4 1 29 078 671 1787

ホームページ：<http://fusyojin.com/>